



安戸山山腹の御野立所跡碑



湯本塩原の摂政宮殿下御野立所跡碑



関谷の駐蹕碑

私のまちの  
**近い**  
世界遺産

▶ 問い合わせ  
函生涯学習課  
☎0287(37)5419

元号改元“皇族ゆかりの記念碑”  
～関谷の駐蹕碑～

天皇のご即位に伴い、元号が「令和」に改まりました。今回は、今上天皇の曾祖父様にあたる大正天皇にまつわる市指定文化財を紹介します。

大正天皇（1879～1926）は東宮時代の明治35（1902）年7月から即位後の大正2（1913）年9月まで、御用邸がある塩原を訪れました。その行き帰りの度に御休憩のため当時の関谷小学校に立ち寄られ、その回数は20回に及びます。

これを光栄に思った地元有志によって大正3年7月に建立されたのが「関谷の駐蹕碑」です。撰文は東宮侍講の三島毅、揮毫は東宮御学問所御用掛の日高秩父、篆額

は枢密院議長山縣有朋によるものです。碑文の中には「本村及小學之光栄何者加之（わが（箒根）村と（関谷）小学校にとつての名譽といつたら、これ以上何を加えましょうか）」と記されており、当時の皇室の御威光がしのばれます。

また、今上天皇の祖父様にあたる昭和天皇が東宮時代の「大正12（1923）年に、松方正義公爵の別荘に御滞在されたときに登った安戸山と、塩原御用邸から高原山まで馬で遠乗りされたとき御休憩された湯本塩原に、それぞれ記念碑が建てられています。

元号改元を機に、皇室と那須塩原市のご縁に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

那須塩原市の文化財 -2019-  
好評発売中

今回紹介した「関谷の駐蹕碑」は平成29年度指定の、一番新しい市指定文化財です。この「関谷の駐蹕碑」も収録した『那須塩原市の文化財-2019-』がこのたび刊行されました。国指定・登録・選択、県指定を含む177件の文化財を収録し、オールカラー、200ページの冊子に仕上がりました。函生涯学習課窓口および那須野が原博物館で、一冊1,500円で販売しています。



開いたページを手で押さえずなくても閉じない製本